



「雑木林塾」卒業生による体験発表
新たな経験でわかったことや、感想などが
分かりやすくまとめられ、発表慣れしてい
る既存メンバーからも「うまくまとめられ
てるね。」の声



環境市民懇談会の全体会では、新運営委員
8名を選出、拍手で承認された。左から
小林・里・安部・鍛冶・尾辻・近藤・行政
委員青柳・江刺さん。どうぞよろしく。

三月四日、映像シアターでの講演会に始まった雑木林塾交流会は立食形式の昼食をはさみ、市内の雑木林で保全活動を実践している方々の体験談と塾卒業生の総括的な発表などがなごやかに行われました。その後引き続き環境市民懇談会の全体会を開催、各グループの発表、十九年度運営方針の承認後、新年度の運営委員を選出、八年目に入る懇談会の今後のあり方を検討し提言にまとめていくこととしています。

雑木林塾交流会と環境市民懇談会 全体会 が同時開催されました！



「危険な生き物とのつきあい方」
倉持武彦氏を講師に迎え、具体的で身
近な内容を皆さん興味深く聴くことが
できたようだ。



立食形式での昼食は一般の方や塾卒業生、
日頃保全活動をしているメンバー
などが親しくおしゃべりし交流する場
となった。

調布の自然 植物編 野川のサクラ

暖冬の影響で、ウメ、コブシ、ハクモクレンなども3月初めに咲いてしまいました。その後、幾分寒い日が続いていますが、ソメイヨシノはこの便りが届く頃には終わってしまっているのでしょうか。

例年ライトアップされ、夜桜を楽しみにしている方も多い、野川(佐須)のソメイヨシノ。今年は、その花の数が少なくなるのではないかと心配しています。去年の花後の大きな剪定の後、大発生したアメリカシロヒトリの被害を受け、野川沿いの多くのソメイヨシノが葉脈だけが残るレースのような葉ばかりになってしまいました。遠目にも木全体がスカスカで、鮮やかな緑ではなく、灰色がかった緑に見えました。夏には新しい枝葉を出すものと思ってい



3月19日



ましたら、どういう訳か全然出ず、被害が著しい一本の木で、花とともに少しの葉を出したのが見られただけでした。ソメイヨシノは夏枝を出さない種類なのではないでしょうか。それとも体力が落ちて出ることができなかったのでしょうか。樹齢を重ね、菌類に侵されている木も見られます。いつまでも美しい姿が見られるように、今年は葉をいっぱい広げて、元気になってほしいものです。(Y.I.)

石っこらむ

染地小学校長の寺木秀一先生
に連載コラムをお願いしました。

せんりよくがん

閃緑岩 : 多摩川の上流には火山?

多摩川の小石(礫)を探すと、調布の川原ではざっと13~4種類あります。そのなかで今回は閃緑岩の石っこらむです。小学生のつけた名前はワカメご飯おにぎり石。これは火山活動でできたれっきとした火成岩です。地図を広げてみると多摩川の上流にあたるどの場所を探しても火山らしきものはありません。どこから来たのでしょうか。

<多摩川の不思議その1>

閃緑岩は石ころになるとほとんど角がとれたなだらかな丸い形になります。どの石も円になるわけではありません。ナスの漬け物風だったり、菓子ひよこに似ていたりする石があります。なぜ閃緑岩は丸くなるのでしょうか。

<不思議その2>

ワカメにあたる深い緑色の鉱物は角閃石と輝石です。石英が多いと石英閃緑岩ですが、多摩川には多くありません。

その1のヒント: 奥多摩の山々の地下が盛り上がってきた、

その2のヒント: 石の固まった環境と条件による



多摩川の石ころ: でき方によって石ころの形が違う

自己紹介

趣味は自然観察と資格コレクション
・環境カウンセラー
・自然観察指導員
石っこ秀ちゃんと呼ばれたい

3/10(土) 下須須自治会の方たちが佐須用水沿いの道路や畑の中のごみ拾いをしていました。「3ヶ月に1回、定期的



に実施している」と話してくださいました。

毎月1回、かに山東樹林の保全活動の帰り道、佐須用水の中に捨てられている空き缶が気になっているのですが、金網のフェンスにさえぎられて拾うことが出来ないのが残念です。(江刺)



多摩川二ヶ領上河原堰付近で侵食災害を防ぐための大規模な工事が行われています。4月一杯かかるもよう。その後の植物等の変化が気になります。(鍛冶)

ちょうふあちこち

環境モニター

3/3(土) 10:00~12:00

・水生植物園と深大寺城跡の植物観察 参加者9名とスタッフ

深大寺はだるま市当日、人ごみを避けて、青渭神社から水生植物園へ。秋に行政で「深大寺・佐須地区現地調査」が行われたとき発見されたというネコノメソウを探した。水辺沿いにまだ小さいが、それらしい芽を観察できた。



少し離れた場所からネコノメソウらしき植物に目をこらす

その他、カンスゲやヒメカンスゲは穂が大きく出揃い、雄花・雌花を観察できた。例年より開花が早いのではないだろうか。城跡の広場では小さなロゼットが沢山見られ、マヤランやイヌショウマと思われる枯れ草などもあった。(K)

カニ山の会

3/10(土) 10:00~13:30

・シュロ伐りとその片付け

参加者12名

雑木林塾の卒業生が3名参加、シュロ伐りを行い、入り口付近にまとめた。人数は多かったが、シュロを運ぶのはかなりの重労働であった。公園課に連絡して処理をお願いする予定。その後残りの枯

れ木やシュロをキャンプ場に運び、カマドで燃しながら新会員と共に懇親会をした。自己紹介を兼ねた雑談や、へびやまの保全をどうするか等、話し合うことができた。(K)

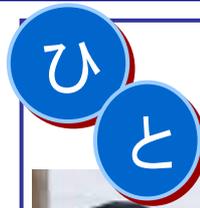


今まで刈り切った笹やシュロが山になっていたが、皆で運び出し、スッキリ!

環境政策課の窓

新しい年度を迎え、調布市役所の組織に動きがありました。まず地方自治法の改正に伴って「助役」が「副市長」に名称が変わります。環境保全課も「環境政策課」と看板を付け替えまして、その名称に象徴されるように、環境政策全般の企画立案、調整といった役割を担っていくこととなります。

また、環境政策課に「生活環境担当課長」が配置され、騒音、大気汚染といった公害防止対策や、動物被害、環境衛生、都市美化など、居住環境に密接な課題をよりの確に、より迅速に解決するための体制としました。引き続き、よろしくをお願いします。(旧環境保全課：青柳)



小林冬樹さん



数回の移動はありましたが、40年あまり野川の水辺で暮らしてきました。野川は改修整備が進み、きれいになりました。しかし、周辺の田や畑そして普通の雑木林は少しずつ宅地化され、それは今も続いています。

私が野川や周辺の環境に対して意識的になったのは、学生時代に参加した三多摩問題調査研究会主催の野川の環境に関する連続講座でした。熱い会でした。この会で、熱い思いを抱きながらも、環境に対するときは、多方面から見ることで、普遍性のある資料データを使った説明の必要を学びました。

そのころに「緑」や「公園」づくりの仕事を選びました。当時の熱い想いとつながる「環境」の仕事しているのだという考えを持っていました。しかし「生物多様性」「管理されなくなった森や林の問題」等、「緑」や「公園」の概念だけでは捉えきれない、より深く広い課題に出会い、また身近な道路の拡幅問題に関わり、暮らしや生活の場の「問題」としての環境への対し方は、仕事の対象としての環境への触れ方とは、違いがあることが分かってきました。それを一言で言えば「地域は様々な利害や感情を抱えた人がつくっている」ということです。環境問題は地域の中で解決が求められている問題です。

私も地域の市民として毎月1回、かに山の会のメンバーとして住まい近くの自然広場東樹林の保全活動に参加してきました。今年度より環境市民懇談会の運営委員に加わることになりました。小さいが大切な一人一人の「利害」と、重大で広がりをもつ「環境」という課題、その両面に私自身を含め目配りのいく透徹した市民が育つ機会になればと思います。

田んぼの学校



今年もいよいよ、田んぼの学校が始まります。4月1日は「野川で遊ぶまちづくりの会」が主催する「田んぼの学校」の入学式。一年間にわたり有機無農薬の稲作作業を体験します。これまで毎年のように水に悩まされながらも、受講生のみなさんといっしょにお米づくりを通じて環境学習をおこなってきました。そして、スタッフはもとより受講生の方もいろいろと経験をつみ重ね、試行錯誤しながら土と水に根付いた人と自然との共生について多くのことを学び、実践して来ました。

今年も新たな受講生を迎えます。授業を通して、調布の自然環境の豊かさ、すばらしさを感じてもらいたいと願います。また、子どもたちが原体験として稲作を経験したことやいろいろな生き物を見たり、触れたりしたことによって、次の世代の時に農業とともに周辺環境を守り、受け継ぐ原動力となってほしいと望んでいます。今年度もよろしくをお願いします。

(田んぼの学校 こんどう)

人間・樹林の会

3月18日、地域センターからは富士山がばっちり見えました。西側樹林地の業者伐採が2月21日行われたので現場確認しました。空が見えるようになり春の光がさしこんできています。ツバキの森では、八重のオトメツバキ・ヤブツバキ、ハクレンが咲き、ヤドリギも発見しました。久しぶりの横山先生の参加で急遽、樹林地内の植物観察になりました。

アオキの雌花・雄花のプチ・違いは参加者(7人)にとっても大きな発見で、今後の残す・残さないの指標の一つしようと確認しました。ニワトコ・ヤブコウジなども保全していきたい植物です。シャガの広場では、光が入ったせいカムラサキケマ

ンが勢力を増してきました。マテバシイ広場の落ち葉かきをすると、キラソウ・オニタビラコ・アザミのロゼッタが現れました。

お汁粉をたべながら、新たに参加した雑木林塾卒業生を交え「作業をしながら植物に親しめれば」など、感想をのべ合いました。(安部)



アオキの雌花
雄花



ちょうふ環境市民懇談会 ・運営会議 3/12(月)

【報告事項：市民/行政】

1. 「豊かな緑…」まとめ報告書を3月中に市長に提出する予定。
2. 環境モニターで来年度から行うというサポーター制度の情報交換。
3. ヘビ山の保全に興味を持つ人がいるので、管理者などについて詳細を知りたい。

4. 布田崖線のM邸について買取の噂を聞いたので詳細を知りたい。

【協議事項】

1. 07年度懇談会運営委員長に江刺氏・副委員長に鍛冶氏を互選。
2. 07年度活動方針・計画等の確認
3. 4/28(土)観察会。参加者を人間・カニ山・モニターで募る。
4. 環境フェアへの参加は昨年並。
5. 懇談会のあり方検討については別プロジェクトを作る。

環境市民 活動カレンダー & おしらせ

全ての会でメンバー随時募集中!

環境モニター

4/8(日) 9:30~12:00

集合場所: 祇園寺

内容: 佐須用水や付近の田んぼなどの植物調べ
持ち物: 図鑑・筆記用具等

市内の自然環境調べや「調布そぞろ歩き」のガイドを行っているグループです。

問合せ: 環境政策課 042-481-7086

カニ山の会

4/14(土) 10:00~12:00

集合場所: 深大寺自然広場、野草園横

内容: 春の東樹林地植物調べ

原則毎月第2土曜にかに山東樹林の保全活動を行っています。参加希望の方は直接集合場所へおいで下さい。

会費500円+保険料500円(年間)

問合せ: 環境政策課 042-481-7086

若葉町3丁目第3緑地 - 保全活動

4/8(日) 10:00~12:00

集合場所: 入間地域福祉センター

内容: 保全活動

原則毎月第2日曜に活動しています。

問合せ: 緑と公園課 042-481-7083

入間・樹林の会

4/15(日) 9:30~12:00

内容: 方形枠調査と保全作業

集合場所: 入間地域福祉センター

原則毎月第3日曜に活動しています。

問合せ: 環境政策課 042-481-7086

ちょうふ環境市民懇談会・運営会議

4/9(月) 18:30~20:30

場所: 市民文化会館たづくり 304会議室

内容: 環境市民懇談会今後のあり方

この運営会議にはどなたでも参加できます。
資料準備のため、事前に調布市環境政策課にご連絡下さい。(TEL:042-481-7086)

メンバー募集中!

私たちは、調布市の小学校の環境学習サポートで、多摩川や野川などに子ども達を連れて行き、色々な体験学習を行っています。去年は6校からサポート依頼があり大忙しでしたが、今年はさらに増える予定です。

調布の自然環境に興味・関心があり、子どもが好きで、平日の昼間に活動できる人、大歓迎。PCでメールのやり取りができればなお良いです。

子ども達と河原で虫取りをしたり、川に入って「がさがさ」をするのは、とても楽しいことです。興味を持った方、是非お問い合わせ下さい。

問い合わせ先: 調布の自然学習ボランティアグループ

代表 杉山典子

042-488-4863

s.noripi@jcom.home.ne.jp

田んぼの学校からのお知らせ

農家のお手伝いをしてみませんか

「田んぼの学校」では、農家のかたのご好意により、畑仕事ができる方を募っています。

「畑でも農作物を作ってみたい」と思われる方はご連絡ください。年間のスケジュールや作業内容の詳細は未定ですが、参加者でできることを、みなさんといっしょに相談しながら進めたいと考えています。

皆さんの手で作る「田んぼの学校」

「田んぼの学校」で活動したいと考えている方は是非、参加してください。スタッフは随時募集中です。

連絡・問い合わせ: 野川で遊ぶまちづくりの会 代表 尾辻
TEL:080-5012-5327

eメール kp5y-otj@asahi-net.or.jp

環境モニター新年度メンバー募集!

市内の自然環境を調査記録するグループです。今年度は水辺の植物観察をテーマに年8回の活動を予定しています。同時にサポーターも募集していますので興味のある方は市役所、環境政策課へお問合せください。

編集後記

買ったばかりの大根のヘタを切り落としたが、捨てるに忍びなく、器に水を入れ伏せておいた。中心の葉っぱがどんどん大きくなってきたと思ったら紫色を帯びた可愛らしい花が咲きました。(N.K)



「ちょうふ環境市民懇談会」は、調布の自然環境を市民・行政・事業者の協働で保全・改善・回復していくために設立されました。2001年から保全活動の交流・支援、人材育成、情報収集・発信、提言などの活動をしています。ぜひご参加ください。

ちょうふ環境市民懇談会

連絡先: 調布市環境政策課 tel 042-481-7086

E-mail: kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

~調布市ホームページでカラー版がご覧いただけます~

市公式HP [くらしのガイド](#) 環境 環境学習 自然だより